

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年3月16日（火）13:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長 他

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから3月16日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

本日は、この後、臨時会議等が予定されておりますので、1時間早めさせていただきます。

まずは広報日程の補足説明です。

1番の原子力規制委員会の関係から参ります。

1ページ目の（1）第64回原子力規制委員会臨時会議。今、申し上げましたが、本日の15時から予定されております。議題は2つございます。

議題1、東京電力ホールディングス株式会社から提出された報告書（柏崎刈羽原子力発電所社員によるIDカード不正使用についての根本原因分析及び改善措置（令和3年3月10日））について。こちらは3月10日に東京電力から提出されました不正ID使用事案に係る報告書について、規制庁から説明を行うものです。

議題2です。東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所における核物質防護設備の機能の一部喪失事案に係るSERP予備会合の結果について。こちらは過去臨時会議3回分、2月18日、3月1日、3月4日、これらについて報告と審議が行われた核物質防護事案、具体的には核物質防護設備の機能の一部喪失事案に関しまして、SERP予備会合の暫定評価の案について報告と審議が行われるものです。

続きまして、（2）第65回原子力規制委員会。議題は6つございます。

議題1、九州電力株式会社玄海原子力発電所3号炉及び4号炉の発電用原子炉設置変更許可申請書に関する審査の結果の案の取りまとめについて（案）－使用済燃料乾式貯蔵施設の設置－。こちらは玄海原子力発電所の乾式キャスク貯蔵施設の設置変更許可に関しまして、審査書の案の取りまとめと原子力委員会及び経済産業大臣への意見聴取などについて委員会に諮るものです。

続きまして、議題2です。関西電力株式会社美浜発電所3号炉、大飯発電所3号炉及び4号炉並びに高浜発電所1号炉、2号炉、3号炉及び4号炉の発電用原子炉設置変更許可申請書に関する審査の結果の案の取りまとめについて（案）－大山火山の大山生竹テフラの噴出規模の見直しに係る変更－。こちらは美浜発電所、大飯発電所、高浜発電所の設置

変更許可に関しまして、大山生竹テフラ、いわゆるDNPの噴出規模の見直しに関する審査書の案の取りまとめと原子力委員会及び経済産業大臣への意見聴取などについて委員会に諮るものです。

続きまして、議題3です。日本原子力研究開発機構大洗研究所（北地区）JMTR原子炉施設（材料試験炉）の廃止措置計画の認可について（案）。こちらは日本原子力研究開発機構（JAEA）の材料試験炉（JMTR）の廃止措置計画認可に関しまして、審査書の取りまとめと廃止措置計画の認可について委員会に諮るものです。

続きまして、議題4です。同じくJAEAの臨界実験装置（TCA）の廃止措置計画認可に関しまして、審査書の取りまとめと廃止措置計画の認可について委員会に諮るものです。

続きまして、議題5です。原子力規制委員会組織規則の改正について。こちらは令和3年度の機構・定員要求の結果を反映などするための組織規則の改正について委員会に諮るものです。

最後です。議題6、審査ガイドの位置付けとその策定手続きについて。こちらは3月3日の原子力規制委員会におきまして、審査実績を踏まえた規制基準等の改正案について図られた際の委員会の指摘を踏まえまして、審査ガイドの位置付けなどについて議論を行うものです。

委員会の関係は以上となります。

続きまして、1枚おめくりいただいて、まず2ページ目の審査会合、会見の関係になります。

2ページ目の一番上、3月16日火曜日、（1）原子力規制委員会記者会見、17時半から。こちらは本日の臨時会議後、17時半から委員長の記者会見がございます。

1枚おめくりいただいて、3ページ目です。一番上からいきます。3月22日月曜日、（7）第89回特定原子力施設監視・評価検討会。議題は大きく3つございます。

議題1は、3月3日の原子力規制委員会で改定されました福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップにつきまして、規制庁から説明を行うものです。

議題2は、3月10日の原子力規制委員会です承されました福島第一原子力発電所事故の調査・分析の中間取りまとめにつきまして、規制庁から説明を行うものです。

議題3は、2月13日に発生した福島県沖地震に関しまして、その影響と今後の対応について東京電力から説明を受けるものです。

続きまして、その下です。（8）第8回特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合。こちらは山形緊急事態対策監の対応となります。

議題ですが、三菱重工の特定兼用キャスクの型式証明に関しまして、基準適合性についての1月14日の会合などへのコメント回答を受けるものです。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

では、ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日のヨシノです。

今日の臨時会のほうなのですけれども、防護設備が壊れてしまっているという話のほうに関する臨時規制委員会はこれで4回目でしたか。

○児嶋総務課長 はい、4回目です。2月18日、3月1日、3月4日です。続いて、今日が4回目になります。

○記者 こんなことを聞くとどうか分からないですけれども、この回数多さと深刻度というのは比例するものなのでしょうか。

○児嶋総務課長 今回に関しては、丁寧に報告をしている結果、増えたということで、深刻度については必ずしも比例していないと思います。

○記者 あと、原子力規制委員会、規制庁のメールというのは、復旧のめどはどうなっているのでしょうか。

○児嶋総務課長 今、フリーメールで使わせていただいております、規制委員会のメールといういわゆるサーバーを遮断している状況については、当面まだ復旧しません。ただ、フリーメールではないメールを使う方向で今、検討を進めております。そういう意味では、メールのアドレスは変わるかもしれませんが、サーバーを遮断しているという状況は、恐らく当面変わらないと思います。

○記者 分かりました。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

では、その前の方。

○記者 北海道新聞のハセガワと申します。

3月19日の審査会合で、北海道電力泊発電所の地震動評価についてが議題になっていましてすけれども、泊発電所の審査会合では、最近はずっと敷地の地質・地質構造の審査が続いていたかと思うのですけれども、この地震動の評価をするというのはいつ以来なのか、何年ぶりなのかというのを教えてください。

○児嶋総務課長 ちょっと今、手元に資料がございませんが、たしか2017年だったと記憶しています。今回のこれは積丹半島沖の関係ですので、私の記憶で恐縮ですが、2017年でした。すみません、何月かは私は記憶にございません。

○司会 広報室の村田です。私のほうで失礼します。

2017年7月28日です。

○記者 その17年7月28日以来の地震動評価の審査ということ。

○司会 はい、そのようになると思います。

○記者 分かりました。

中身は積丹沖の活断層の想定をどうするかという感じ。

○児嶋総務課長 そうです。

○司会 ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。

—了—